（十日夕刊）

磐城新聞

休刊 大祭日 第一第三日曜
定價 一部二錢 一ケ月六十錢 郵税十五錢
廣告料 一行六十錢 指定廿錢増
發行兼編輯印刷人 西　滿　龍　輔
福島縣平町田町十六番地
發行所 磐城新聞社
電話 五大番

愛の必然性

男女を解放せよ

齋藤昌武

自分は前に戀愛が男女兩性の人格化の上に形成せられ然してそれがやがて結合の形をとつたとしても兩性の美しい生へのあかゞれ，であるとしたならば立派なる，間性に玄踊してゐるものであるといつた，勿論我が國の古くから傳統のためくの批評はしないかとゞく男女と云ふも關係が必要視されながら割合に何んの方法を講じられず又その方法に自由が幾分ある階級のだけに認容されてゐたに一ろ一般的に男女關係がまるでみじめな、一定にせめられたくるしい束縛にせめあぐめられてゐたかに察づがづにはゐられない。

勿論男女關係がある一部酒亂者の御爲の如く肉慾又肉慾にのみ行爲するものゝしたならば、それは當然吾等のさけねばならぬことであるけれどもある教養人格と人間美が兼ねらるゝなれば兩性は自由に解放せしめられ當然美しく撰擇の自由をとつてのびゆくべきものであることは今再若識があくまでもない白村氏がその苦戀愛觀・石原純氏が戀愛價値論・立派に立證してゐる、勿論自分は其の全部者の論にも一利一害でおちを思ふ、けれど自分が、云程度までの經驗を赤裸にこの文につゞめてみるまでもなく、我が國の男女關係にある程度（道徳と人格）に於ての交際、愛への進歩は必然的に起り又起るべく自由の位地をとらねばぬ現狀にあることを通觀する強いて云ふ。

今の男と女、それはまるで戰々恐々としてゐるではないかそして男と女は一もにもなくその交際の自由を失はしめられてゐる、それに教訓者の危險を防ぐためにに必要なことでもないではないか。まるで人間をての取りあつかへをはづらせしめられてゐる、現狀は實にこまつたものである，學校でも家庭でもこのことを抑壓するはいが何等性的教育暗示もいな青年少女にくだらぬ男女の自由を抑壓することはむしろ、とをざけんとして教へることとなのである。

自由にせられ自由にせられゝばむしろ教養の文明人はその程度まで進んでも人格と理性とによつて判斷的行爲にとゞめ得るのである勿論それ以上の行爲にいづればそれは戀愛の愛を越へた本能的となるからその時は愛が害をむすんだとまだから大によろこぶべきであらう、よろこばなくともどうかせねばならぬことである。

本能的のことに對する人間が仰壓ば勿論人格と教育の力である程度、たさへ得るがその法果生理的にも神經的にも悪影響を起すは全の二ケ年の神經時代の体驗から一問であゝ自分はこゝに男女關係の人格的自由解放をある程度までこゝに記するに至つた理由は前述の如き。悪影響がむしろ現時の青春期の男女にあのことゞ自分でも又客觀的にも通觀するからである若き男女ら、家庭の人よ愚論と思つしもぬその抑壓より起るべい事實をしらべてみよ明に現時のすべての社會問題がなど程度まで性的自由解放にあ、ことを認めるのである。

明日の吉凶

六日　舊暦六月十六日　新暦七月十一日

▲一白の人　左右より支持せらるれども目上に縁薄き日▲二黒の人　一家足並みを揃へ決心堅く進めば吉日たり▲三碧の人　氣分を新たにし奮闘すれば擡頭し來るべし▲四綠の人　蛾が餌を運ぶやうに朝から撓まず勵むべし▲五黄の人　事無かれ主義を以て徐ろに進む方が吉き日▲六白の人　心を高潔に外に對して寛大なれば吉に向ふ▲七赤の人　次第に廣平なる運に惠まるゝ日儉勤が第一▲八白の人　波瀾を避け緩みを見て進む樣にすれば無事▲九紫の人　次第慶福に向ふべし博愛の美風を忘るゝな

この欄への投書をカンゲイします。なんのキテイもありません、諸兄の活躍にまかせします。

講談　幕末奇談　高山彦九郎

(184)　中西洋々作　市施長春畫

文治の徴　（一）

しかし、すべては、意外に事件は進んで居りました。敦賀に舟をすてゝ、京に上つたひこ九郎は、先づ、三條橋のたもとに跪座して皇居を拜しましたがその新皇居の立派やかさ、幕府の金目をいとはぬ造營に、全く、とゝのつて舊皇居とは比すべくもない、あまりの美しさに、流石のひこ九郎も二言なく默ししまいました。

「あゝ、も早、自分のことは終つた」

かうした慨嘆の叫びさへ彼の口をもれました。

事實、ひこ九郎のことは挫折して終つたかのやうでした、京都復興の事もひいては學校建築のことをもそれから勤王の血に鳴る同志の糾合のことも……。

さうして、一方には家庭の破壞です幕府の故知れぬ怒りです。

今は、例の廣瀬幸兵衛宅に、訪れよう心もなく、三條橋を出はずれると、そのまゝどこども知れず歩み去らうとしたときでした。

鴨川のほとりを、彼方から群れ集つて來かゝつた一々の群れがありました。

ひこ九郎は、不審の眉をひそめながら近よつてみると、一人の男が一匹の美しい蓑龜をもつて、そのまはりを多くのものがとりまきながらいづれかへ持ち運んで行かうとするらしいのです。

「たゝ、これは高山さまで……」

その群集の中から、彼を見かけて、かう聲をかけたのは、一面識ある、このあたりの富豪清水といへる老人でした。

「やあ、清水か、しばらくぢやつた喃」

ひこ九郎は、なつかしげに近よつて。

「して、あの騷ぎは何とたのぢやな」

たひかぶせるやうに、かういつて訊ねました。

「へね、あれでございますか」老人は得意そうにうたつて、「あれは何でございます。私共出入りの漁夫が琵琶湖で、蓑龜を生捕つたのでございます」

「ほゝう、蓑龜と申すか」

ひこ九郎は、珍しそうにたつねました。

「はい、一名錄毛龜と申しましてな、形は小さくムいますが、龜甲のあやもございますしとに珍らしいもので……昔から天下太平の徴ありといはれて居ります如何でございます。私達まででた越しなされませぬか」

かういつて、ひこ九郎をさそいました。

「うむでは、お邪魔をすることにしようか喃」

さそはれるまゝに、別にどこへ行かうときめてゐたのでもありませんので、そのまゝ清水に伴はれて、その家に至りました。

「成程、これは始めて見るが美しい形のものでござる」

ひこ九郎は、多くの群集の後からのぞき込んで、今更のやうに嘆じ入りました

「高山さま」

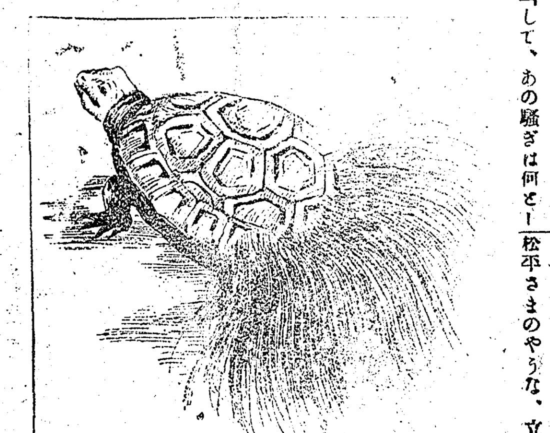
清水は、いさゝか得意そうな面持で頷いて、

「あの毛に長いものがムいませう。あれは、古書によりますとな、文治の徴ありとにめでたいことでありますので、まことにめでたいことではムいませぬか。上には聖明の天子樣がましまし、下には、松平さまのやうな、立派な大老さまがすべてをしろしめされて居られます。まことにこの龜の出現は理由のない事ではございませんな」

かういつて、老人はその蓑龜に傳はる故事などを語つてくれました。

「ふうむ、それは何とも芽出度い、ことでござるな」

「ひこ九郎」も同じ思ひに支配されて深い物思ひに沈みました。



廣告

披露
磐城舞子仁井田浦港口遊覽船二隻新造
關商店
大浦村上仁井田港口　關正次郎

三伏の酷暑に向つて銷夏絶對の名作
日活大作品——原作・村尾薫　監督・木藤茂
廣瀬恒美・決死的猛演
鐵道美譚　雪の救援列車　全
雪國の、とある寒村、雪の暴威に總てのものが拉れてしまつた、鐵道の開通により眼覺め行く村人然し近代文明は此の大自然に激しい鬪爭を挑んでゆく、銷夏的此のロマンスこそ…日活獨自の名畫
NK、CK、千惠藏嵯峨野作品
雜誌キング連載、原作 佐々木味津三
怪奇連續　風雲天滿双紙　第一篇
片岡千惠藏……主演
瀬川路三郎・川上彌生・竹久舛子　助演
市川小文治・衣笠淳子・山田五十鈴
雨上りの白い霧が立籠つてゐる、不可解な女が怨籠を捨て、姿を消した、アツ——女の死人が乘つてゐるぞ（此者を死に至らしめたものは大阪より九州のうちにあり）謎の如き張紙が怨籠のたれにはつてある？
松竹蒲田超々特作名畫
里見淳氏原作・雜誌（苦樂）所載
岩田祐吉・栗島すみ子　主演
花柳情緒　今年竹　全
藤野秀夫・奈良眞養・八雲恵美子・新井淳
文壇の名匠　里見氏が（苦樂）雜誌に三ケ年に亘つて連載せし傑作文壇の視聽、世の熱狂に完成された本映畫こそ、絢爛多彩な纏綿たる情緒を點綴して……嬌麗無比
十日寫眞替り　日活松竹　平館　電四六六

入院隨意（自炊の便あり）
X光線科　外科專門
平南町　上田外科醫院　電話一二九
病室完備

暑中御伺申上ます
御家族樣をお連のとき急を要する御商用のとき何卒昭和を御願致します
平驛前　昭和タクシー　電三四三（サシミ）

夜間診療
胃腸　梅毒
內科　十二指腸虫病　專門　內科部
淋病　婦人病　皮膚病　專門　外科部
松村胃腸科性病科醫院（平南町電話一〇七番）

吉田眼科病院
平町紺屋町

ヒゲタ醬油
特約店　平町田町　廣瀬支店　電話五四番

銘酒　清世界
各炭鑛御用達　（吉）清水屋
石城小名濱港　小野晉平　電話六番

木村病院
平新川町十九　電話一六四
産婦人科　院長　木村寅次郎
內臟外科　整形外科　醫學士　松永憲一
女醫　木村コウ
藥局　東京藥學士　萩原駿二

夏向の
小供洋服生地と
新柄レース　一寸巾から二尺巾まで
澤山入荷致しました
婦人手藝材料
ハシモトヤ糸店
平町田町

生花教授
池ノ坊流　生花を懇切叮寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町五丁目十六番地
須藤まつの

高久病院
平町田町　電話五一三番
內科小兒科、外科花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽濟
藥劑士　佐竹菊雄

三井の浴衣デー
今年好評な品をうづ高く積んで！皆々樣の御來店をお待して居ります！
婦人倶樂部浴衣　音曲ゆかた　歌集ゆかた　陳列
三井呉服店

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋　和洋銅鐵
（久）釜屋商店
磐城國平町五丁目　電話九番一三九番　振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は（久）の生命なり

スッポン飴　一圓　二圓
スッポン酒　二圓
スッポンヘモクロビン錠　三圓
平町五丁目角
山野邊藥局

工費三十萬圓で 鮫川疏水復活
小柳知事來郡し 十一日實地視察

石城郡における鮫川疏水の復活完成については歷代知事が如何ともなす能はず今日に至つたが、同疏水の復活は石城郡南二町七ケ村に對し灌漑用水は勿論上水道水源としても缺くべからざるものとされ殊に小名濱町に商港が實現され〃曉は痛切にその必要に迫られるものであるため小柳知事は斷然これが復活完成を期すべく決意したさうで經費は三十萬圓に達する見込みで之は國庫及縣費補助を加へ疏水組合に對し賦課し更に鮫川に於て許可を得たる發電所會社に寄附を要求する方針で本年度中には具體案の實現を見る模樣であり小柳知事は前にも之が實地調査する處もあつたが近に來る十一日平町に於て開催する濱三郡町村長大會に出席のため來平しその折に又實地調査を行ふ由であり、この疏水復活に至つた事情は小柳知事としては縣下に於ける二大問題とされてゐる石疏水の復活完成と猪苗代湖の湖面低下問題とを解決する決意より出でたものであると

平町青訓生 知事査閲 磐中校庭で

平町青訓生六十餘名は來る十一日濱三郡町村長會に臨席のため來郡する小柳知事の査閲を受けることゝなつたので目下非常な意氣込みで教練中だが當日は特に元磐中グランドで陣地攻擊の野外戰を行ふので附近町村青訓生の見學申込みが相當あると

平税務署管内 取得と營業收益 各一割方の減少

平税務署本年度取得税その他の集計は九日發表された取得額は二百三十五萬七千廿一圓 稅額七萬六千四百卅八圓、人員一千百卅二、資本利子稅十一萬五千七百九十四圓、稅額二千三百六圓、人員八百六十五名、營業收益稅百廿一萬九千八百九十七圓、稅額三萬三千五百九十二圓、人員千三十七人で前年に比し取得並に營業收益は各一割の減、資本利子稅は不景氣で個人會社が殖えたゝめ一割の增加である

不景氣はどこに落付く
石川生

大局を見るといふことと誠に困難な、とだ、現在やうな不景氣も結局はどうなるかといふ學が解つてゐれば夫れに處する方法を講じて、悠々と待つ位は誰にだつて出來さうだが、地を掩ふ憂鬱だといふから寸見當が付かない、そこに大きな惱みがあるのだ、して政府當局にしても豫想が付かないと見ねて世界の大勢はこうであり或國の形勢はかうで、各國の貿易狀態はこうであるから究極はこうなら、心配せずに働けと言ひ切れる ところに見ると產婆が妊娠は何月だから出產は何時頃になると診察するよりも當にならそうでない、經濟學だの財政學だのといふのも腹の空いた時に飯を食はせるやうな譯には行かぬものらしい

◇

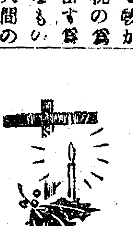
唯だ、金の在るものは、無い者の爲めに出來得る限りの誠意を見せて、こんな場合に生產的な事業を與へし失業者を救濟したならばこの危機を救ひ得ることだらうだが、金持ちにしてもこの先どうなるのか、見當が付かないために金を出して良結果を見なかつたら自分までが倒れてしまふ憂慮がかゝるので、さうも出來ないからうといふものだ、小作爭議など、徵しても小作をの言ひなりに小作料を輕減するのは好いが、小作人の身に都合が惡いことが出ると輕減してくれ輕減してくれがあるので、地主會が共同戰線を張るやうにもなるのだ。そこが人生生活の六ケしい處なのだ。

◇

保原町では電燈節約會といふものを作つた節約會、云ふ名前は惡い事はない、た互に手詰まりな時に幾分でも節約して家庭經濟に餘給を作らうといふのだから性質論としても目的行爲としても、好い事に相違ない一ケ年六千圓位の經濟價値を生み出すために薄暗くして憂鬱を買ふ事になつたらどうださうした所までも考慮して置く必要はあるのだ無論節約の目的中には福電の反省を促すと云ふやうな意味合ひもあらうが、餘程考慮して見る必要がある、安達郡の新殿村では諸納稅の怠納處分として宅地までも差押へて競賣處分をするさうである。宅地までも差押へたといふのだから村民全體が如何に苦境に沈んで居るかゞ思ひやられる。

◇

それは國稅か縣稅か村稅か私共には解らないが、その何れにした處が宅地や田畑を差押へてどうするつもりだ納稅は一體國民より來い爲政上の主体なのか、國民以上のものか何をする爲めに徵稅するのだ、それも解らずに徵稅目的のみに邁進する吏員といふものがあるならば私共は呆れて物が云ひない、國民は納稅の爲めに働き納稅を産み出す爲めに生れて來たやうなものになる。そんな事で人間の存在價値生存價値といふものはどこに在る、寧ろ役場が村が宅地を差押なければ立ち行かぬやうだつたら役場なり村なりを縣に任かせするが好いどうにでもやつて下さいと…悲慘もかうなつては淚以上だ、恐らく新殿村はこうになるとが解つて居たのであらうに大局的に見通す人が無かつたからであらう、だからといつて今になつては過去を咎めたてするわけには行かない。



磐陽製絲 女工誘拐 あぶない處を會社が發見

去る七月五日突然大浦村上仁井田磐陽製絲會社に二人の男が訪れ同社の女工志田みい(三〇)きん(二七)なる者の親であるが都合あつて引取りに來た者であるが早速引渡して貰ひたいと云ふので會社側ではあまりの突然なるに驚き會社としても多忙の折柄とて斷りたるも親なる志田熊太郎は自分の娘ばかりか娘等の同居女工たる他の五人をも誘拐せんとしたので會社側では驚き娘二人を引渡したのみで他の女工は取りもどした

資本金二萬圓で 町營屠殺場を 平町で委員を擧げ 着々調査開始

平町會議員武田元之助氏は八日町會終了後平屠殺場を創立しこれを町營とすべき建議案を提出これが調査委員として、千葉、齋藤、武田、荒川(淺)根本の諸氏があげられた同屠殺場は借入金償還その他で目下利益はないが重役或は株主等に町議も相當加はつてゐるので實現するものと見られる、尚資本金は二萬圓であると

上半期 平署の犯罪統計

平署では去る一月より六月までの拘留科料になつた人員は二百五十名で次の如し拘留二十歲以上男十二人女一十八二十歲末滿男なし女一八十八歲末滿女三人警察犯處罰令で科料になつた者十歲以上男十三女二省令道路取締規則で男二十三自動車取締で男十七度量衡法取締男一代書人規則男二牛馬取締男三宿泊屆其他男二未成年者喫煙禁止法男一縣令警察處罰令男四縣度量衡取締男六自轉車取締男十九料理屋飲食店待合取締男三女三十酌婦、女給取締女八自動車取締男六十七宿屋取締男一女三道路取締男九興業物取締男一原動機取締男一縣賞富籤射的取締男一煙筒取締男一計拘留四十四名科料二〇六名

姉妹を尋ね 見當らす 六十男の行路病者

九日午前十一時半頃四倉町字本町道路に五十歲前後の男倒れ居たる此の男は現籍宮城縣仙臺市東三番町生れ棚澤喜一郎(五六)にして當時土浦方面の旅館に働き居たるが四年前より病氣のため思ふ樣に働けず土浦より汽車にて平町迄來たり在平中であつた姪を尋ねた處見當らぬので途方にくれ石塚に居る姉のもとに行く途中倒れた者と判明木村醫師の手當の上行路病者として町役場に引渡したと

東北庭球大會

十七日午前八時より開かれる東北庭球大會へ平町では平倶樂部の奥津、潟池組が出場する事に決定し猛練習中であると

植田町で 家屋稅の減額運動

石城郡植田町では先に第一次家屋稅調査委員會に於て決定した額に對し縣は二萬四千百七十圓四十四錢の增額したので同町で之れに對し一割五分の減額を縣へ申請中であつたが十日當町長及び町民代表二名が減額の促進を計る爲め出縣した

桑原の取調べで 連累者が 續々現はれん

平郵便局から一萬數千圓の切手及び印紙を竊取し行衛を晦して居た同局庶務係桑原庸夫(三六)は既報の如く朝鮮京城居住の實兄吉田毅夫(四二)方に立廻つた處を有無を云はせず引つ捕へたが平署では身柄受取りに猪狩刑事が下關まで出迎かへる筈で有から來着と共に連累者及び犯罪行爲が近い內に明かになるであらう

平衛生講話 平署

會議室に於て十八日午前九時より各區の衛生區長を集めて傳染病に關する衛生講話を開催する由

農業研究會に 高久村藁谷氏が 本縣より僅か三名中 選ばれて出席

富民協會主催東京日日新聞大坂每日新聞後援第一回農業改善研究會は來る八月十七日から一週間愛知縣、安城農林學校內に開催されるがこれに出席する府縣知事の推薦に依る一府縣三名宛の講習生に就ては過般來本縣でも嚴重選中の處九日石城郡より高久村藁谷久太郎(二六)が選ばれ講習を授ける筈であるが右久太郎は大正十一年磐中を卒業後昭和四年石城郡農業調査員に命ぜられ同五年三月郡農會中堅農民講習を習得し四月石城郡中堅農民同窓講習會副會長に推薦せられた有望の青年として嘱目されてゐる者であると

平町の 懸賞蠅取 一等より十等まで

平町並に平署では傳染病豫防並に衛生思想普及のため近く懸賞蠅取を催すべく計畫中であるが入賞は一等から十等まで捕へた數で等を決めるか目方で決めるか未だ決定して居ない

縣下少年 野球大會に 平第一校出席 目下猛練習

縣下五大都市少年野球大會は二十日午後十時から郡山麓山公園で開催されるが出場と決した平第一校では既報の如く阿部政右工門氏を會長とせる後援會平町三日刊本社、磐城時報、常磐每日新聞社後援で目下放課後可憐な小選手餘名が猛練習を續けてゐる

●取消● 昭和五年七月九日夕刊の記事「呑んだ揚句は血の雨の亂鬪毆ぐられた上時計を奪われけふ平署に告訴」の記事中平町堤の內澤谷四三郎とあるけれど小生は全く關係無之候間右御取消被下度候、平町堤の內澤谷四三郎、磐城新聞社御中

世界的選手を招き 入山のプール開き 從業員の競技もあり 十一日盛大に行ふ

石城郡湯本町入山炭礦のプール開きは明十一日午前九時より盛大に擧行する當日は同礦の芦川技師の斡旋により目下世界的の水泳選手として名聲を博してゐる水戶中學出身現早大生米山弘君を招き各種水泳の技を演ずる筈で非常な興味を唆てゐるが尚此の日は從業員のリレー役員の競技及び社宅兒童の競技等も催す筈であると

平魚市場 十五日總會 役員選擧

平町魚市場の重役は過般總辭職をなしたので來る十五日同市場內に總會を開き役員の選擧を行ふ筈である

小野田の チブス 益々猖獗

石城郡磐崎村上湯長屋小田炭礦における腸チブスはその後ます〳〵猛威を振るひ未だ一名も全快せず去る五日は坑夫磯上隆秀(二五)市村(三七)の兩名が罹病隔離舍に收容されたが重症患者續出し坑夫舟山繁治(二五)は六日遂に死亡したので所轄平署では同村並に同炭礦と協力して防疫に努めて居る

ビール麥査定 石城郡農會で 十九日開く

本縣農會が斡旋し契約栽培した本年度產ビール麥の査定會は來る十九日午前十時から石城郡農會々議室において開く

六ケ月の 家賃を踏み 夫婦夜逃げ

本籍伊達郡月館生れ當時四倉町仲町越中屋事森繁藏(三五)は昨年より料理店を開業し居たが妻きち(三五)との間に喧嘩の絶間なく評判が惡るかつたが去る二日夜突然姿をくらまし逃走せるものなりと去二日夜家賃六ケ月分百三十圓を踏倒して姿を晦したので四倉署で搜査中である

植田水電 株主總會 二十五日開く

植田町植田水力電氣會社の株主總會は二十五日午前九時より同社內に開き前期決算を行ふが今期配當は日立電力との送電契約成立により窮境を脫するに至つたので前回の六分配當に對し七分乃至八分に增加さるゝ模樣である

平町人事

△出生

平町瓶宮町七双葉郡磐田村野田十六松岡佐留四男正光

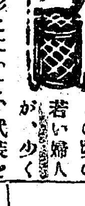
平町鎌田町十三石城郡夏井村大越清水二〇魚行商木田芳之輔六女十三

平町胡摩澤百十七石城郡大野村上柳生下二七久野芳治治長男清

五歲少年 水に轉落 發見救助

四倉町字仲須賀町米商寺內金之助孫保(五)は去る七日午後三時頃四倉驛前の堺川にあやまつて轉落し溺死せんとしてゐたるを通行中の四倉驛前菊地富治氏が發見救助した

玉川村のH〇生君へ御投稿を感謝致します而し今一歩具體的に御知らせを願ひたいと思ひます(係)



この頃の若い婦人が、少くとも外形において、武裝をかためたことは事實である脚を見られまいためにはストッキングをはき、貞操を擁護せんとするためにはヅロースを用ひてゐる。しかしその反面に、かつて、洋裝の女性がパンツを用ひずして、汽車、バス、電車、內で風紀を紊亂させたといふニユースさへ傳はるのはどうしたことか、そこで私は、あるバーの女給の意見を聞ねたのであるが、彼女は笑つて答へたのである。「まさかね、洋裝をして、しかも電車の中で何もはいてゐないなんて、幾ら〇〇の女でも考へられませんわそれに、カフエーや、バーの女がヅロースをはいてゐるといふことも、あまり考へ過ぎた想像ではないでせうか、洋裝たら鬼に角和服でヅロースをはかば、第一腰上げが出來ませんわ一々御不淨へ行く度ゞ帶まで締め直したり、そんなことでヅロースをしてゐるのは十人のうち一人か二人よ。」

營業種目
內地材　材木各種、羽柄材各種
建築諸材請負
礦山用坑木其他諸材請負
外材部　米松、米杉、大角製材調達請負　其他
(百) 佐藤材木店
常磐線平町新川町　電話 三三五番

◎コークス大々的値下斷行……
從來一俵金壹圓貳拾錢ノ
東京瓦斯コークスヲ
金九十五錢ニ値下致シマシタ
一家ノ經濟ハ臺所カラ
◎使ヘ馴レ、バコークス程經濟ナモノハアリマセン
◎使用法ハ參上御說明申上マス
配達迅速(御注文ハ一俵ヨリ御屆ケ致シマス)
昭和五年七月一日
電話 二二七番
平驛前
(ツ) 阿部石炭商店

外科一般(入院隨意)
內臟外科專門
花柳病科
平町六丁目(橋際)
木村外科醫院
電話 三〇九

專門 內科一般
內科ハ何デモ診療致シマス
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五
川井內科診療所
電話七二二番
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

植田町本町
前田醫院
…入院隨時…
電 一二四番